

ロボット活用した機械開発

在来パネル加工機への取組みも強化

日新興産

日新興産(東京都、原口博光社長)は、2×4パネル加工機の製造に取り組むなかで、在来パネルの機械の製造も可能にし、在来パネル製造に取り組むプレカット工場に対し、同社の各機械をアピールしていく。

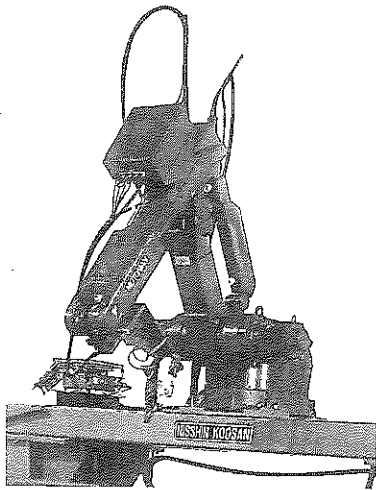
同社は現在、AIやIoT、ロボットなどの最先端技術を取り込んだ機械の開発を進めている。AIは、2×4部材加工機械のほか、在来パネルの枠組みと面材の釘打ちライオンに活用。今までの機械では、釘の打ちミスや打ち込み深さ等は様々なセンサーを組み合わせて検出していたが、最終的には人の目

め、複雑な形状の部材切断や住宅パネルの組

み立て、細かな釘打ちがロボットでできるようしていく。

場のライン設計などにもかかわることで次の時代に必要な加工技術を開発し、それを新たな開発に生かしてきた。当社の機械のなかには、在来パネルに利用できる機械も多いので、ぜひ加工を省力化、効率化したい企業は当社に相談してほしい。

同社がロボット技術を使用して開発した機械



今後もAI、IoT、ロボットなどの最新技術を生かし、コンポーネント工場やプレカット工場の課題を解決していくるように様々な機械の開発を進めたい。